

## 「禁忌」及び 使用上の注意改訂のお知らせ

武田テバ薬品株式会社  
大阪市中央区道修町四丁目1番1号

睡眠剤

ユーロジン®1mg錠  
ユーロジン®2mg錠  
ユーロジン®散1%  
(一般名：エスタゾラム)

この度、標記製品の「禁忌」及び「使用上の注意」を以下のとおり改訂致しましたのでご案内申し上げます。今後のご使用に際しましては、電子化された添付文書（以下、電子添文）をご参照下さいますようお願い申し上げます。

### 1. 改訂内容（抜粋）

(追記箇所 下線：\_\_\_\_\_)

改訂後	改訂前												
<p><b>【禁忌】</b>(次の患者には投与しないこと)</p> <p>(1)重症筋無力症の患者[本剤の筋弛緩作用により、症状が悪化するおそれがある。]</p> <p>(2)リトナビル(HIVプロテアーゼ阻害剤)、<u>ニルマトレルビル・リトナビル</u>を投与中の患者(「相互作用」の項参照)</p>	<p><b>【禁忌】</b>(次の患者には投与しないこと)</p> <p>(1)重症筋無力症の患者[本剤の筋弛緩作用により、症状が悪化するおそれがある。]</p> <p>(2)リトナビル(HIVプロテアーゼ阻害剤)を投与中の患者(「相互作用」の項参照)</p>												
<p><b>3. 相互作用</b></p> <p>(1)併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>リトナビル ノービア® <u>ニルマトレルビル・リトナビル</u> <u>パキロビッド®</u></td><td>過度の鎮静や呼吸抑制等が起こる可能性がある。</td><td>チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇することが予測されている。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リトナビル ノービア® <u>ニルマトレルビル・リトナビル</u> <u>パキロビッド®</u>	過度の鎮静や呼吸抑制等が起こる可能性がある。	チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇することが予測されている。	<p><b>3. 相互作用</b></p> <p>(1)併用禁忌(併用しないこと)</p> <table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>リトナビル ノービア®</td><td>過度の鎮静や呼吸抑制等が起こる可能性がある。</td><td>チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇することが予測されている。</td></tr></tbody></table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リトナビル ノービア®	過度の鎮静や呼吸抑制等が起こる可能性がある。	チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇することが予測されている。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
リトナビル ノービア® <u>ニルマトレルビル・リトナビル</u> <u>パキロビッド®</u>	過度の鎮静や呼吸抑制等が起こる可能性がある。	チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇することが予測されている。											
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子											
リトナビル ノービア®	過度の鎮静や呼吸抑制等が起こる可能性がある。	チトクロームP450に対する競合的阻害により、本剤の血中濃度が大幅に上昇することが予測されている。											

### 2. 改訂理由

#### 「禁忌」及び「相互作用：併用禁忌」の項に「ニルマトレルビル・リトナビル」を追記（自主改訂）

相手薬であるニルマトレルビル・リトナビル（パキロビッドパック、ファイザー株式会社）の電子添文において、エスタゾラムとの併用は禁忌とされているため、本剤においても整合を取り「禁忌」及び「相互作用：併用禁忌」の項にニルマトレルビル・リトナビルを追記しました。

- 武田テバDIセンター 0120-923-093 受付時間 9:00～17:30(土日祝日・弊社休業日を除く)
- 医療関係者向けホームページ <https://www.med.takeda-teva.com>

本改訂につきましては、医薬品安全対策情報（Drug Safety Update）No.315(2023年3月発行)に掲載される予定です。最新の電子添文は医薬品医療機器総合機構ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）に掲載されます。また、専用アプリ「添文ナビ」よりGS1バーコードを読み取る事で、最新の電子添文等をご参照いただけます。



(ユーロジン散) (01)14987123079676